

会員研修・ビジネス委員会 基本方針（案）

会員研修・ビジネス委員会 委員長 松尾 陽介

1 昨年からの新型コロナウイルス感染症の拡大は、一般社団法人佐賀青年会議所の活動のみならず、各会員の仕事や生活にも様々な影響を及ぼしています。ニューノーマルといわれる生活様式の変化は、テレワーク、新しいデジタルツール等の活用を急速に発展させました。このような社会情勢の中、佐賀青年会議所は人財の確保のみならず、会員の資質向上を目指し、他団体と協働し、時代の変化に合わせた事業の形を創り出す必要があります。

6 まずは、仮会員の参加意欲や絆を高めるために、研修においてコミュニケーションの場を設けることで、会員同士の繋がりづくりをサポートし、正会員後も積極的に活動に参加できる環境づくりを行います。そして、社会貢献活動の見える化を実現するために、アクトコインを使用することで、会員のモチベーションを上げ、青年会議所活動の積極的な参加に繋げます。さらに、この新しいデジタルツールを佐賀青年会議所内で活用していくために、早期にマニュアル作成し共有化を図ることで、会員全体の理解を深めます。また、3年末満の会員へのセミナーだけでなく、歴の長い会員にもデジタルツールを各々のビジネスに活用していくために、今の時代に則したセミナーや講演を行うことで、活動意識の向上に繋げます。そして、青年会議所の魅力を広げ、対外に向けて発信していくために、他団体や企業と連携することで、ともに活動できるパートナーとして地域貢献できる形を目指し、活用できる部分を次年度以降にも引き継いでいけるよう取り組んでいきます。

17 大きな転換期を迎えた今、佐賀青年会議所だからこそできる挑戦と魅力を高めるために、時代に合わせた人財づくりを行うとともに、地域振興の取り組みを継続し、現在（いま）を生き抜き次代へつなぐで参ります。

20

21

22 [事業計画]

- 23 1. 新入会員並びに会員研修の企画・運営（通年）
- 24 2. ビジネス事業の企画・運営（7月）
- 25 3. 厄入厄払の企画・運営（1月）
- 26 4. 例会の企画・運営（4月、11月）
- 27 5. シニア交流事業の企画・運営（6月）
- 28 6. サマーコンファレンス参加者への支援（7月）
- 29 7. 会員拡大 拡大目標 委員会5名（通年）